

平成30年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家

教育事業名：「平成30年度 自然体験活動指導者（NEAL リーダー）養成研修」

期間： 平成30年 9月1日（土）～9月2日（日） （1泊2日）

対象及び参加人数： 自然体験活動や青少年教育に興味関心のある方 19名

目的：

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者（NEAL）養成カリキュラム」に則り、自然体験活動指導者を養成することにより、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子どもの発達段階に応じ、適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を育成する。

事業概要：

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者（NEAL）養成カリキュラム」に則り、事業を実施した。

参加人数は19名（大学生11名、社会人8名）が参加した。

各講習は以下の通りである。

【自然体験の特質】澤田 賢一 氏（NPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会 自然観察指導員）

【対象者理解】【自然体験活動の指導・技術】瀧 直也 氏（信州大学教育学部講師）

【自然体験活動の安全管理】大澤 実 氏（一般社団法人アウトドアソリューション 代表理事）

【青少年教育における体験活動】星野 浩一（国立妙高青少年自然の家 所長）

【自然体験活動の技術】及川 未希生（国立妙高青少年自然の家 企画指導専門職付）

成 果：

1泊2日でNEALリーダーの全カリキュラムを修了できる養成団体は少ないようで、社会人の方が参加しやすい日程であった。

参加者は大学生から社会人と幅広い年齢層で、中には、学校教員が「林間学校に行く前に、自然体験活動の知識・技術を学びたいため」、また、水族館職員は「職場で企画・実施する部署につき、指導の仕方を学びたいため」と青少年教育に携わる方々が指導方法を学ぶために参加されていて、青少年教育施設以外の方にも参加する機会が増えた。



【自然体験活動の特質】
妙高戸隠連山国立公園に特化した研修後、フィールドに出て、植物を上や横等様々な角度から観察することで、普段の視点を変えることや視野を広げることの大切さを学ぶ研修となった。



【対象者理解】【自然体験活動の指導・技術】
対象者理解では、指導者としての心構え、振る舞い、年齢や特徴を理解する等、1人1人の理解が重要であることを学び、体験的に学ぶことのできる内容だった。自然体験活動の指導・技術では、ナイトハイクやエコ野外炊事を行い、安全管理や基本的な技術について実践的に学ぶことのできる研修となった。



【自然体験活動の安全管理】
講義では安全と危険のバランスの重要性を、また実際に野外で対応できる応急処置等を行い、体験活動で活かせる研修となった。

課題：

- ・得た資格を活用できる事業や活動の確保する。
- ・養成研修で演習Ⅰが行える日程を案内したところ、1名申し出があったが、希望者が増える工夫をする。